

千駄山広場草刈りの報告

報告者 ボーイスカウト西東京第2団 団委員長 鈴木久幸
日時 平成21(2009)年7月18日(土) 7:00~13:30

市のみどり公園課に7月15日に「7月18日の土曜日に千駄山広場の草刈りをしたい」と連絡した。

6月20日(土)に一度、草刈りをした。約1か月で10cm程、草が伸びている。これ以上、草が伸びると機械に負担を掛けてしまうので、6, 7, 8, 9月は必ず月に1回は刈らないと駄目である。

市の草刈り機



草が10cm以上伸びると使用しにくくなる



素晴らしい草地になったが最近痛みがひどくなった



草を刈っている様子



この広場は、以前に木造平屋建ての都営住宅が建っていたところである。老朽化が進み都市計画公園内ということもあり、取り壊し後は更地になっていた。市が都和協議の上、広場として一時借用した。ボーイスカウトが、この広場を利用して活動に利用し始めたのは今から10年ほど前からになるが、そのころは、荒れ地で埃が舞って待っている状態だった。夏になると、萱であるとか名前は分からないが荒れ地に生える草が占拠して、とても広場として使える状況ではなかった。

以前、ボーイスカウトの活動で、5月に北多摩地区のカブラリーをこの広場で開催をした事があった。その頃は、まだ手入れも何もしていない状態だったので、30cm程草が伸びていた。北多摩地区のカブ

スカウトが各地から集合したが、子供達の中には草にかぶれる者が出てしまった。市長もお呼びしてのイベントであったが、管理が悪いとその後草刈りをして頂いたが、年に2回程で日常的に使える状態には成らなかった。そこで、ボーイスカウトの人達は草刈り機を所有している知り合いの農家の人に、草刈り機を貸してもらって草を刈り始めた。もう、6年程になるだろうか。

ちょっと一休み



刈った草はそのままにして肥しにする



順調に作業が進んでいます



所々、虫食いのように秃げています



刈り始めた当初は、草刈り機が動き始めると、土埃がしてご近所に迷惑になるのではないかと心配した位、土を覆う草が少なく、萱とか背の高い草が多く生えていた。しかし、2年、3年と続けて行く内に、段々と萱とか背の高い草が生えなくなり、日常的に使える良い草地になって来た。

朝7時から刈り始めるのだが、今日は機械の調子が良くない為に午後1時半頃まで掛ってしまった。草刈り機の整備が必要だ



最近、ちょっと心配になっていることがある。この広場を利用して、市が水防訓練をするようになったが、最初の内はそれほどでもなかったのだが、今年の訓練は大分熱を入れたのか、あちこちに穴を掘ってその後に砂を入れて直しているところが数多くなっている。広場の入口は土が硬くなって草も生えていない状態だ。草を刈って

大事に手入れしている者にとっては、もう少し丁寧な利用の仕方があるのではないかと思うのである。訓練をするのが、いつも5月である。5月というのは草がやっと芽吹く時期で、根がまだしっかり張っていない時期でもある。その頃に訓練に必要な機材を積んだ車が入り、動き回るので草はひとたまりもなく傷んでしまう。その上、あちこちに穴を掘って訓練をするのだから荒れ方がひどくなってきた。今までは、2か所ほど砂が入っていた場所が、今年は数か所になっている。

訓練とはいえ、せつかくの草地を痛めても良いとは思えないし、もし、それで良いとなれば傲慢ではないだろうか。時期やその方法を少し改める必要があるだろうと思っている。

草地の痛みがひどくてガッカリしている様子



すっかり綺麗になった広場だがところどころ傷んでいる



花を植えている人達も大事に千駄山広場を使っている



また8月には草刈りをする予定だ

